

Mauro Iurato & Rumi Itoh Duo Concert

program

ベートーベン：ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ヘ長調 Op.24「春」
L. v. Beethoven: Violin Sonata No.5 in F Major, Op.24 'Spring'

メンデルスゾーン/アクロン編：歌の翼に Op.34-2
F. Mendelssohn/J. Achron: On Wing of Songs Op.34-2

イトウ ユミ：東北に寄す 3つの民謡から
Y. Itoh: To Tohoku, from 3 Folk Songs

江藤 誠仁右衛門：「種は眠る」
Narihitoemon Eto : A seed , that's in heavy sleep

クライスラー：プレリュードとアレグロ
F. Kreisler: Preludium and Allegro

タルティーニ：ヴァイオリン・ソナタ ト短調 Op.6-2「悪魔のトリル」
G. Tartini : Violin Sonata in g minor, Op.6-2 'Devil's Trill'

アルビノーニ/ジャゾット編：アダージョ
T. Albinoni/R. Giazotto : Adagio

サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン Op.20
P. de Sarasate: Zigeunerweisen Op.20

マウロ・イウラート Mauro Iurato

1977年トリノ生まれ。トリノのG・ベルディ国立音楽院を一年早く最優秀成績で卒業後、奨学金を得ながら、F・グッリ、S・アッカルドなど有名各師のもと腕を磨く。1998年ウィーン国立音楽大学に入学。M・フリッシュェンシュラーガー教授のもとで研鑽を積み、数々の国立及び国際コンクールで優勝。2002年WTV(ヴィーン・トゥリン・ヴィルトゥオージ)国際室内楽団を結成。ウィーン大学より派遣教授として2003年に来日後、徳島文理大学音楽部准教授、アンサンブル神戸首席コンサートマスター、また大阪フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢などに客員コンサートマスターとしてゲスト出演。ピアノ奏者ジュゼッペ・マリオッティ氏とはUniDuo(ウニドゥオ)を結成、2011年5月初アルバム『Un Album Italiano(ウン・アルバム・イタリアーノ)』をリリース。現在新しいプロジェクト「Harmonia Kobe - ハルモニア音楽アカデミー」開校に向け、神戸北野にてヴァイオリン教室を持つ。ヴァイオリンは1690年ジョッフレド・カッパ作の「コッラ・デッラ・キエーザ」。

<http://www.mauroiurato.com/>

伊藤 ルミ Rumi Itoh

幼少より故東 貞一氏に師事し、18歳でデビューする。以来ソリストとして数多くのリサイタルを開くとともに、故朝比奈隆氏指揮による大阪フィルハーモニー交響楽団をはじめ多くのオーケストラとの共演で活躍する。海外では、1988年にヤナーチェク弦楽四重奏団に招かれたのをきっかけとして、現在までに同弦楽四重奏団や、その第一ヴァイオリニストの故ボフミル・スメイカルとの二重奏、パールトリオ、ミハル・カニユカとの二重奏でヨーロッパの国々で共演し高い評価を得ている。2006年には、チェコの名門パルドゥビツェ管弦楽団、ボフスラフ・マルティヌー管弦楽団との共演でも好評を博した。国内においては、1989年より「リッツ・ミュージック」を主宰し、フランティシェック・ノボトニー、「パールトリオ」、ミハル・カニユカ、「ラ・ミューズトリオ(エバルト・ダネル、ルドヴィート・カンタ)」、マウロ・イウラートなどを招聘し各地で活動を続けている。9種類のCDが国内外でリリースされている。1991年神戸市文化奨励賞、1995年兵庫県芸術文化奨励賞、2002年ロドニー賞(神戸市民賞)などを受賞。(公財)神戸文化支援基金理事。

<http://www.rumi-itoh-pianism.com>

ホワイトデイに楽しい音楽を